

案件概要書

2014 年 10 月 28 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ガーナ共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：アクラ
- (3) 案件名：野口記念医学研究所追加実験棟設置計画（Project for Provision of Additional Laboratory Space at Noguchi Memorial Institute of Medical Research）
- (4) 事業の要約：本事業は野口記念医学研究所（以下「野口研」という。）の実験棟の新設及び研究機材の供与を行うことにより、保健サービスの改善に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
ガーナにおいては、寄生虫感染症、呼吸器感染症、下痢症等の感染症が主要な疾病であり、感染症対策は重要な医療政策の一つである。また現状では MDG6（HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止）の 2015 年目標値の達成が困難であり、ガーナの国家開発計画である「Ghana Shared Growth and Development Agenda II: 2014-2017」でも、マラリアや HIV/AIDS・性感染症等の感染率削減に取り組むとしている。野口研は、西アフリカ地域の感染症対策における中心的な役割を果たす機関として注目されており、委託研究・検査及び日本を含む大学やその他機関との共同研究が増加傾向にある。またガーナ大学医学校からの研修生やインターンシップを受け入れる計画があり、これまでの研究成果を活用した質の高い若手保健・医療従事者の育成を行うためにも、追加実験棟の建設及び研究機材の供与が必要とされている。
- (2) 保健セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け
我が国の対ガーナ共和国国別援助方針（平成 24 年 4 月）及び JICA 国別分析ペーパーにおいて保健は重点分野とされており、本事業は我が国及び JICA の協力方針と合致している。また、第 5 回アフリカ開発会議（TICAD V）（2013 年）で採択された横浜行動計画において、感染症対策は保健分野の重点項目となっている。
野口研では、ガーナ大学医学部附属施設として 1979 年に我が国無償資金協力により建設されて以来、我が国専門家による基礎研究機能の向上を目的とした技術協力が長年行われてきた。「野口記念医学研究プロジェクト（Ⅰ、Ⅱ）（1986～97 年）」において、ウイルス学、栄養学、疫学、エイズ及び住血吸虫症分野における基礎的な疾病研究能力が確立され、感染症サーベイランス機関として WHO に正式に認定されている。その後も感染症のワクチン技術の向上、HIV/AIDS 分野における研究・対策機能の強化を通じてガーナ人医療従事者の能力向上を図る「感染症対策プロジェクト（1999～2003）」や、野口研を我が国が提唱する「国際寄生虫対策（橋本イニシアティブ）」の西アフリカにおける拠点とするための「国際寄生虫対策西アフリカセンター（WACIPAC）プロジェクト（2004～2008）」が実施され、今日、野口研は西アフ

リカ地域における感染症分野の主要な検査機関として広く認識されている。

(3) 他の援助機関の対応

デンマーク国際開発庁、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、UBS オプティマス財団、ウェルカム・トラスト、フォルクスワーゲン財団等と感染症分野における共同研究を実施。

(4) 本事業を実施する意義

我が国はこれまで野口研に対し、その設立時から協力を行っており、重要なアセットとなっている。また、2014 年に発生したエボラ出血熱への対応では、検査面で中心的な役割を果たしており、協力の成果が着実に発揮されていることが確認できている。今後も感染症対策の拠点として西アフリカ全体への貢献が期待されており、また、本邦研究機関との連携も多数見込まれているため、本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、野口研の実験棟の新設及び研究機材の供与を行うことにより、研究機関及び教育機関としての活動範囲の拡大を図り、もってガーナ及び西アフリカ全体の保健サービスの改善に寄与するもの。

② 事業内容

- i. 施設、機材等の内容：野口研の追加実験棟を整備する。また、追加実験棟で使用する研究機材を供与する。詳細は協力準備調査にて確認する。
- ii. コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：施設維持管理スタッフを対象とした研修を実施する。詳細は協力準備調査にて確認する。

③ 他の JICA 事業との連携：無

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：野口記念医学研究所（Noguchi Memorial Institute of Medical Research）

② 他機関との連携・役割分担：特になし

③ 運営／維持管理体制：野口研では、共同研究費の 15%を維持管理費に回す等の体制が確保されているが、今後、活動範囲を拡大していくに当たり、研修等を通じたさらなる体制強化が必要。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリー分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI

② カテゴリー分類の根拠：カテゴリー分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項

西アフリカ全体の感染症対策の拠点として、HIV、マラリア対策等における広域への貢献が期待できる。

(5) その他特記事項

特になし。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

野口研を対象に、P3 実験室や動物実験施設の整備、関連資機材等の供与を行った「野口記念医学研究所改善計画（1998 年）」の評価等では、一部施設管理について維持管理に係るフォローアップ協力の必要が生じたものの、相手国側関係者が主体的に研究内容・レベルに合致した資機材選定を行い、供与された資機材の使用、操作手順・方法等において改善が見られた。本事業においても同様、ガーナ側関係者の主体的な参加を促し、追加実験棟設置の目的や使用者の技術レベル及びスペアパーツの調達環境に合った資機材を選定する必要がある。

以 上

〔別添資料〕 地図

野口記念医学研究所追加実験棟設置計画地図

